

性質別歳出の内訳

()内は、対20年度比

| | |
|---------------------|---|
| 公債費 21.1% | 49億4,601万円 (+5.2%) 借入金(市の借金)の返済金 |
| 人件費 19.0% | 44億6,383万円 (-0.9%) 特別職や一般職の給与など |
| 繰出金 13.7% | 32億1,905万円 (+6.2%) 特別会計への繰出金 |
| 物件費 11.7% | 27億5,505万円 (-1.8%) 施設の管理費や物品の購入など |
| 扶助費 10.3% | 24億2,443万円 (+1.8%) 医療費や児童手当など |
| 補助費等 10.1% | 23億6,118万円 (+1.4%) 各種団体への補助金など |
| 普通建設 事業費 9.7% | 22億6,675万円 (-27.4%) 公共施設の建設費など |
| その他 4.4% | 10億2,870万円 (-8.5%) 積立金、維持補修費、投資・出資・貸付金など |

歳出の解説

民生費

高齢者福祉や少子化対策など

公債費

借入金(市の借金)の返済金

農林水産業費

農林水産業の振興、ほ場整備など

総務費

一般事務経費や市役所の管理など

教育費

小中学校の整備や教育など

衛生費

保健衛生やごみ処理など

消防費

防災対策や消防団活動など

商工費

商工業の振興、観光事業の促進など

基金(貯金)残高の見込み

| | 21年度末 | 市民1人当たり |
|------|------------|-----------|
| 一般会計 | 53億2,386万円 | 10万1,300円 |
| 特別会計 | 19億 968万円 | 3万6,400円 |
| 合計 | 72億3,354万円 | 13万7,700円 |

市債(借金)残高の見込み

| | 21年度末 | 市民1人当たり |
|------|-------------|------------|
| 一般会計 | 411億2,699万円 | 78万3,000円 |
| 特別会計 | 384億5,313万円 | 73万2,000円 |
| 合計 | 795億8,012万円 | 151万5,000円 |

※市民1人当たりの額は、平成21年2月末
現在人口52,528人で算出しています。

一般会計

歳出 234億6,500万円

(20年度比-2.2%)

| | | |
|-----------------------------------|------------|-------|
| 民生費(+1.5%) | 54億 463万円 | 23.0% |
| 公債費(+5.2%) | 49億4,601万円 | |
| 農林水産業費(+4.6%) | 23億5,178万円 | |
| 総務費(-9.9%) | 23億1,280万円 | |
| 教育費(-10.9%) | 22億6,175万円 | |
| 土木費(-6.0%) | 20億4,028万円 | |
| 衛生費(-10.8%) | 17億4,209万円 | |
| 消防費(-5.7%) | 8億1,905万円 | |
| 商工費(-4.6%) | 4億3,864万円 | |
| 議会費、災害復旧費 労働費、諸支出金等 (-1.1%) | 11億4,797万円 | |
| | | 21.1% |
| | | 10.0% |
| | | 9.9% |
| | | 9.6% |
| | | 8.7% |
| | | 7.4% |
| | | 3.5% |
| | | 1.9% |
| | | 4.9% |

()内は、対20年度比

特別会計

()内は、対20年度比

土地開発

2億3,003万円 (-13.2%)

産業廃棄物最終処分

1億 98万円 (-57.9%)

ケーブルテレビ

4億 533万円 (+1.1%)

水道

39億 602万円 (-1.9%)

下水道

57億6,972万円 (+48.6%)

農業共済

5億3,483万円 (-0.3%)

国民宿舎

4億7,288万円 (-8.1%)

※下水道事業会計が21年度から公営企業法適用会計に移行することに伴い、減価償却費と
打切決算による影響額13億7,800万円が本年度予算に含まれています。

平成21年度 当初予算

21年度の南あわじ市の予算が決まりました。財政健全化計画に基づき、23年度予算での収支均衡を図れるよう緊縮予算としていますが、「選択と集中」を念頭に少子対策・防災対策など緊急性・必要性を総合的に勘案した予算を編成しました。広報では、一般会計を中心にお知らせします。

歳入 234億6,500万円

(20年度比-2.2%)

| | | |
|-------|---------------|------------|
| 36.0% | 地方交付税(+4.3%) | 84億5,000万円 |
| | 市税(-2.8%) | 60億7,922万円 |
| | 市債(-10.5%) | 23億7,840万円 |
| 25.9% | 県支出金(+6.7%) | 17億6,031万円 |
| | 国庫支出金(-15.9%) | 11億3,765万円 |
| 10.1% | 繰入金(-19.5%) | 8億7,741万円 |
| | 繰越金(±0%) | 2億円 |
| 7.5% | | |
| 4.9% | | |
| 3.7% | | |
| 0.9% | | |
| 11.0% | その他(-4.0%) | 25億8,201万円 |

()内は、対20年度比

自主財源(36.8%)

皆さまに納めていただく税金や使用料など、市が自主的に収入しうる財源をいいます。

(例. 市税、繰入金、使用料・手数料など)

依存財源(63.2%)

国や県から交付・配分される収入をいいます。

(例. 地方交付税、市債、国庫・県支出金など)

歳入の解説

地方交付税

地方の財源の均衡を図るため国から交付されるお金

市税

市民税や固定資産税など

市債

事業をする際、銀行等から借りるお金

国庫・県支出金

事業に対する国・県からの補助

繰入金

基金(市の貯金)の取り崩しなど

繰越金

前年度から繰り越されたお金

歳入

歳入で最も大きな割合を占めているのは地方交付税で、地域雇用創出推進費が加算されたことなどにより、前年度に比べ3億5,000万円(4.3%)増額し、84億5,000万円を見込んでいます。次に市税では、景気後退や団塊世代の退職などの影響により、1億7,567万円(2.8%)減額し、60億7,922万円を見込んでいます。また、市の借金である市債は、2億7,840万円(10.5%)少ない23億7,840万円を発行する予定で、基金(貯金)の取り崩し額は、7億5,900万円(9.3%)少ない7億4,000万円となっています。

行政評価で

1億4,300万円削減

市では、18年度から行政評価を実施しています。20年度は、市の事務事業を1,458事業に分け、50の事業と182の施設を評価し予算に反映。約1億4,300万円の経費削減を図りました。

行政評価…業務に対する目的意識・コスト意識の醸成と市民ニーズに応じた事務執行や創意工夫による経費節減、行政運営の透明性の確保を目的としています。

歳出を性質別で見ると、最も大きな割合を占める公債費では、市債元金のうち5億5,000万円を繰上償還するため、前年度より2億4,467万円(5.2%)増額の49億4,601万円を見込んでいます。次に人件費では、職員数削減で給与総額が減額となりましたが、退職手当組合負担金等の負担率が上がることで、全体で3億8,666万円(0.9%)減額の44億6,383万円を見込んでいます。また、普通建設事業費では、今年度は土地改良事業・道路改良事業・学校屋内運動場大規模改修工事など22億6,675万円を見込んでいます。